

東海南海連絡道の早期実現について

【担当省庁】国土交通省

市町村における取組

（現状・課題）

本村は紀伊半島の北部に位置し、隣接する奈良県宇陀市と三重県松阪市を結ぶ主要幹線道路の国道166号が東西に横断しています。

現在、国において、紀伊半島のアンカールートとして南北を結ぶ京奈和自動車道また、国道168号及び国道169号の整備を進めていただいておりますが、奈良県と中部地方を結ぶ高規格道路は名阪国道のみです。

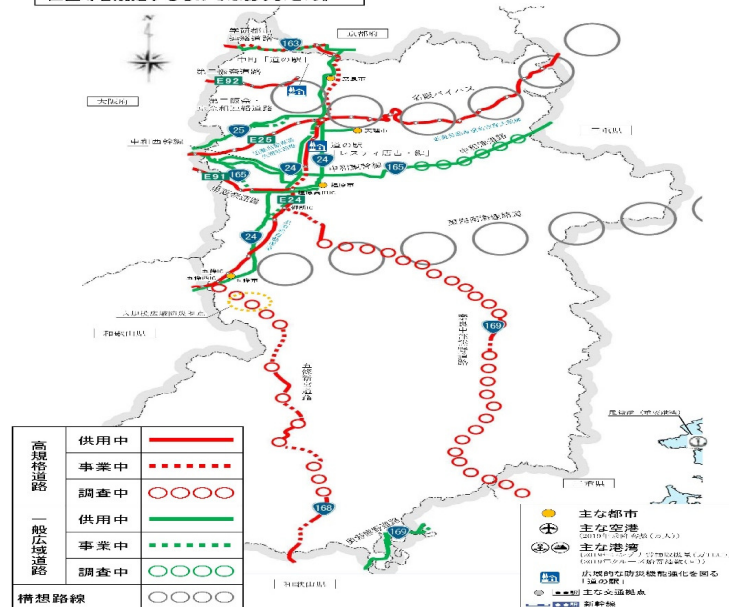
このため、災害時における緊急輸送道路また物流道路としての役割を果たす高規格道路の整備が必要であると考えます。

高規格道路を整備することで物、人の移動が活発になり沿道地域の発展はもとより災害等における緊急時にも迅速に対応出来るものと考えます。

本村においては、今日まで国、県に対し東海南海連絡道の必要性を訴えているところであります。

○ 広域道路ネットワーク計画図（奈良県）

本計画図は、具体的な路線のルート、位置等を規定するものではありません。



出典：奈良県

国にお願いすること

東海南海連絡道は、紀伊半島中央部を横断する路線であり、関西圏域と中部圏域との連携を強化し、西日本の広域経済文化圏の形成に寄与すると共に奈良県にとっては紀伊半島地域の振興に必要不可欠な路線であり、五條、吉野地域の産業振興、観光振興、災害時の避難、緊急輸送道路の確保等にもつながるものであります。

よって、東海南海連絡道を高規格道路として位置づけるための予算を確保していただきますようお願いいたします。

【担当部署】 東吉野村 地域振興課